

【参考資料】

令和5年度 全国学力・学習状況調査 四街道市内小中学校の結果概要

1 調査の目的

- (1) 全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析から、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、改善を図る。
- (2) 学校での個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる。
- (3) 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施日・実施教科・対象学年

実施日：令和5年4月18日（火）

※中学校英語「話すこと」調査は各中学校が指定した期日に実施

実施教科：小学校…国語、算数

中学校…国語、数学、英語

対象：小学校6年児童・中学校3年生徒

3 調査の特徴

- (1) 学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
- (2) 各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。
- (3) 中学校で4年ぶり2度目となる英語の教科調査を実施。
(「話すこと」調査は、タブレット端末等を用いたオンライン方式により実施。)

4 本市における調査結果の評価

「教科に関する調査」については正答率、質問紙調査については「児童生徒の回答の割合」を以下の基準にて評価

正答率または 児童生徒の回答の割合	表 記
80%以上	得意である、身に付いている、高い傾向にある
60%以上80%未満	概ね身に付いている、概ね理解している
60%未満	課題がある、低い傾向にある

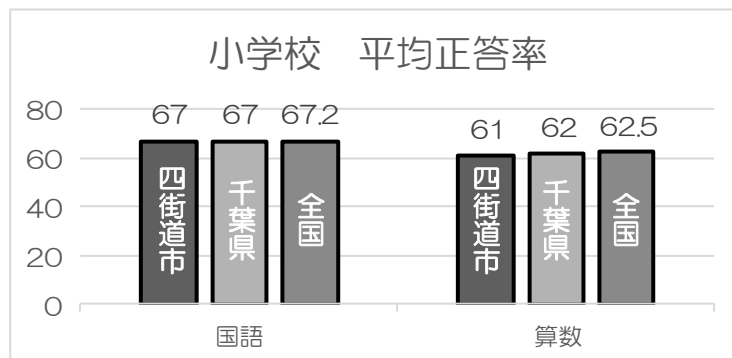
※文部科学省の実施要領には、調査結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、序列化や過度な競争が生じないようにすると記載されており、この結果をもって、小学校6年生、中学校3年生の学力をすべて網羅しているものではない。

※文部科学省からの公表・提供資料では、市町村別、都道府県別の正答率については整数値となっている。

5 教科に関する調査結果概要

(1) 小学校調査

ア 平均正答率



イ 領域、問題形式別正答率

【小学校国語】

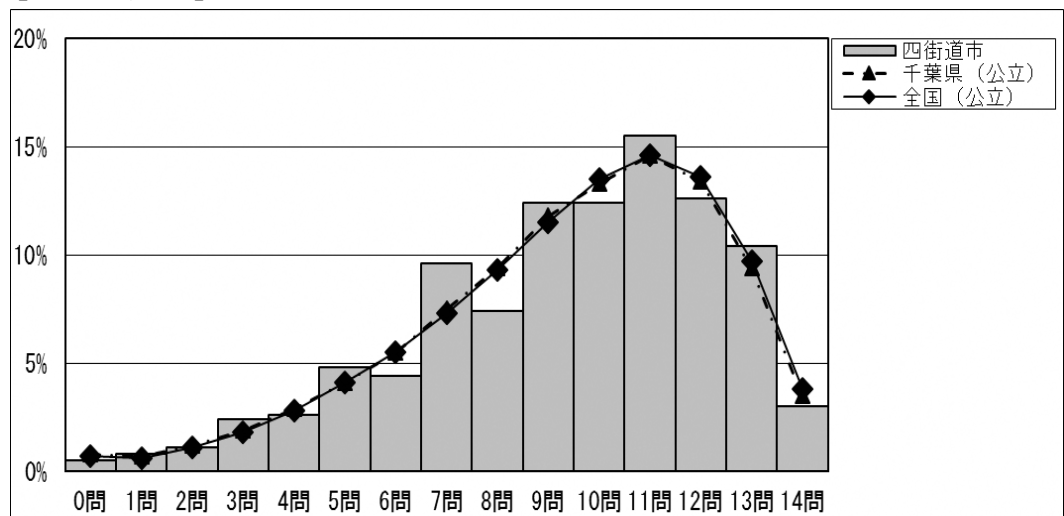
対象児童数			四街道市教育委員会	千葉県(公立)	全国(公立)	
			833	48,041	964,177	
分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)			
			四街道市	千葉県(公立)	全国(公立)	
全体		14	67	67	67.2	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	69.8	70.4	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	61.5	62.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	74.1	72.8	72.6
		B 書くこと	1	23.5	24.0	26.7
		C 読むこと	3	71.7	71.3	71.2
評価の観点	知識・技能	7	67.4	68.2	68.9	
	思考・判断・表現	7	65.8	65.2	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	73.2	73.4	73.6	
	短答式	2	60.7	61.2	62.7	
	記述式	3	50.8	50.1	51.1	

【小学校算数】

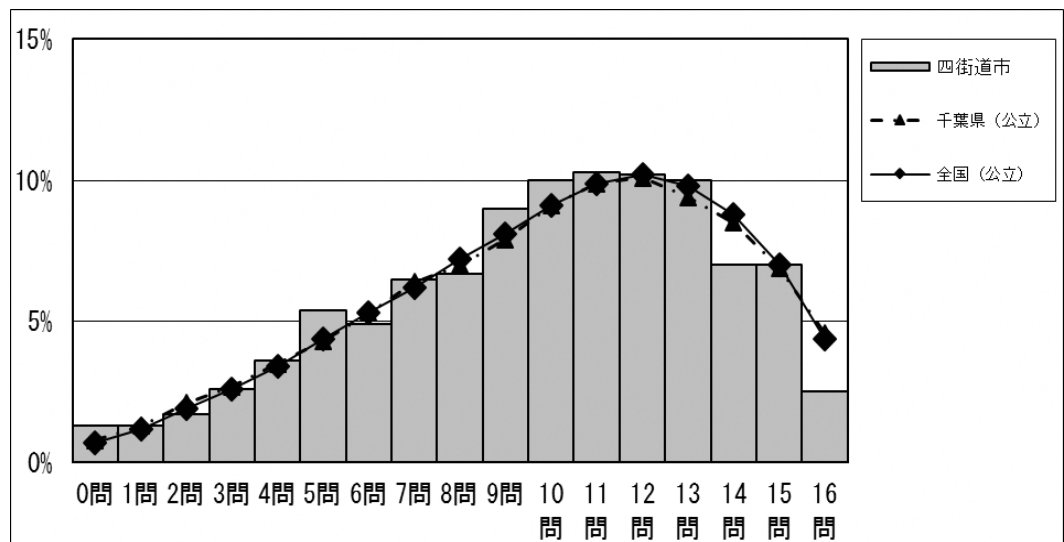
対象児童数			四街道市教育委員会	千葉県(公立)	全国(公立)
			833	48,041	964,350
分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			四街道市	千葉県(公立)	全国(公立)
全体		16	61	62	62.5
学習指導 要領の 領域	A 数と計算	6	64.6	66.9	67.3
	B 図形	4	46.4	47.4	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	69.6	70.7	70.9
	D テータの活用	3	64.8	65.3	65.5
評価の観点	知識・技能	9	66.1	66.8	67.2
	思考・判断・表現	7	53.8	56.0	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	56.8	57.2	57.7
	短答式	7	72.9	74.4	74.7
	記述式	4	44.2	46.7	47.3

ウ 正答数の分布

【小学校国語】



【小学校算数】



エ 評価

【小学校国語】

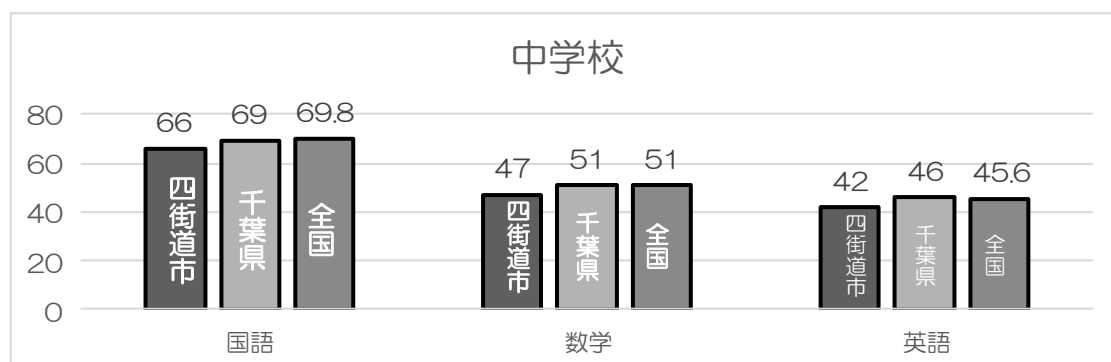
- 出題されている学習内容をおおむね理解している。
- 「書くこと」の領域に課題がある。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、やや二極化の傾向がみられるが、概ね望ましい分布となっている。

【小学校算数】

- 出題されている内容をおおむね理解している。
- 「図形」の領域に課題がある。
- 記述式の問題について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、概ね望ましい状態にあるものの、全国、千葉県と比較するとやや低い傾向にある。

(2) 中学校調査

ア 平均正答率



イ 領域、問題形式別正答率

【中学校国語】

対象生徒数	四街道市教育委員会	千葉県(公立)	全国(公立)
	728	44,879	892,738

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)			
			四街道市	千葉県(公立)	全国(公立)	
全体			15	66	69	69.8
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.0	67.4	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	60.7	63.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	67.7	72.9	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	77.4	81.5	82.2
		B 書くこと	2	62.4	63.3	63.2
		C 読むこと	4	58.7	63.4	63.7
評価の観点	知識・技能	7	65.5	68.6	69.4	
	思考・判断・表現	9	65.7	69.4	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	70.8	73.4	73.1	
	短答式	4	61.6	64.3	65.6	
	記述式	4	62.6	66.9	68.0	

【中学校数学】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)			
			四街道市	千葉県(公立)	全国(公立)	
全体			15	47	51	51.0
学習指導要領 の領域	A 数と式	5	56.0	62.4	63.0	
	B 図形	3	29.6	33.0	33.2	
	C 関数	4	47.9	50.5	51.2	
	D データの活用	3	46.6	48.3	48.5	
評価の観点	知識・技能	10	51.6	55.7	55.7	
	思考・判断・表現	5	36.8	40.3	41.6	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	4	42.3	45.8	45.3	
	短答式	6	57.8	62.3	62.6	
	記述式	5	36.8	40.3	41.6	

【参考資料】

【中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			四街道市	千葉県(公立)	全国(公立)
全体		17	42	46	45.6
学習指導要領 の領域	(1) 聞くこと	6	55.5	59.4	58.4
	(2) 読むこと	6	48.5	51.1	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	19.6	23.3	23.4
評価の観点	知識・技能	9	48.6	51.8	51.5
	思考・判断・表現	8	35.6	39.1	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	52.0	55.2	54.8
	短答式	3	25.8	30.0	30.1
	記述式	2	10.3	13.3	13.5

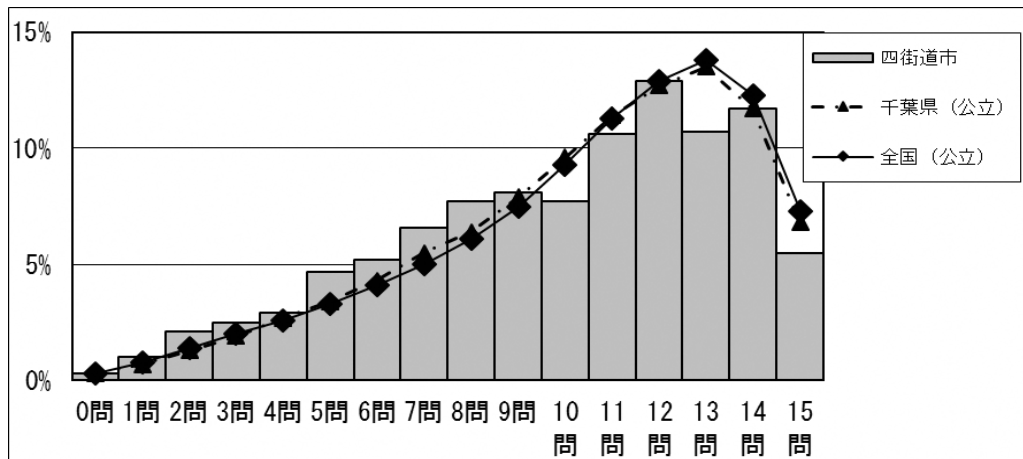
【中学校英語「話すこと」調査】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)*	
			四街道市	全国(国公立)
全体		5	11	12.4
学習指導 要領 の領域	(1) 聞くこと	0		
	(2) 読むこと	0		
	(3) 話すこと [やり取り]	4	13.4	14.5
	(4) 話すこと [発表]	1	1.8	4.2
	(5) 書くこと	0		
評価の観点	知識・技能	3	10.6	13.9
	思考・判断・表現	2	11.7	10.1
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	0		
	短答式/口述式	3	10.6	13.9
	記述式/口述式	2	11.7	10.1

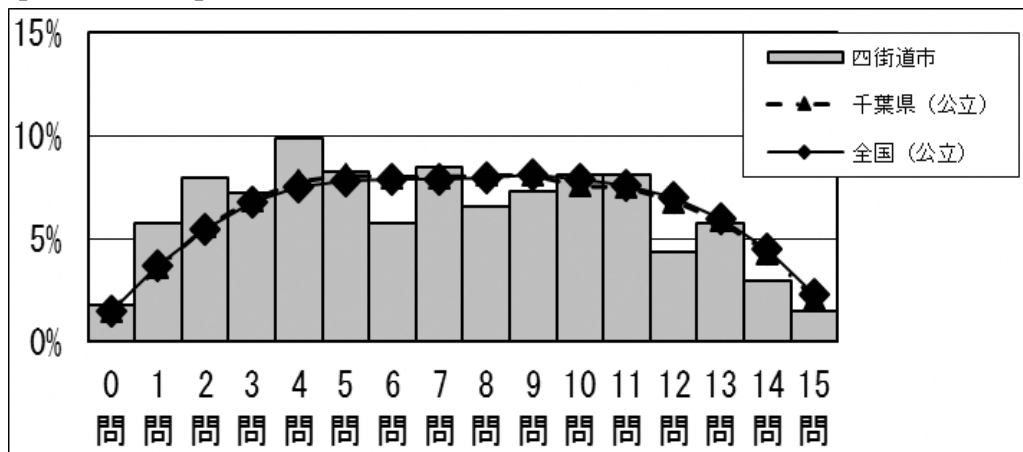
* がついているところの「全国(国公立)」の値は、実施状況等を考慮した統計的補正をかけ、全国値として推定されたもの。

ウ 正答数の分布

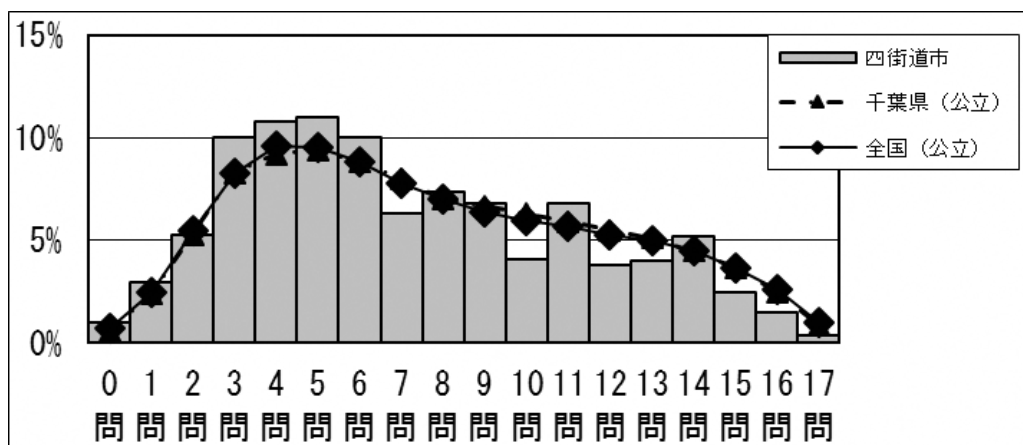
【中学校国語】



【中学校数学】



【中学校英語】



エ 分析・評価

【中学校国語】

- 出題されている学習内容をおおむね理解している。
- 「読むこと」の領域に課題がある。
- 正答数の分布をみると、全国、千葉県と比較するとやや低い傾向にある。

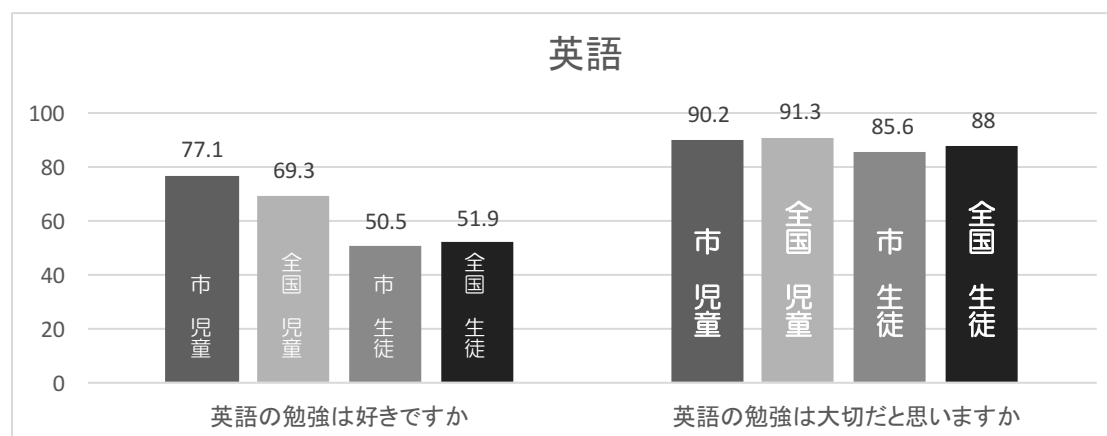
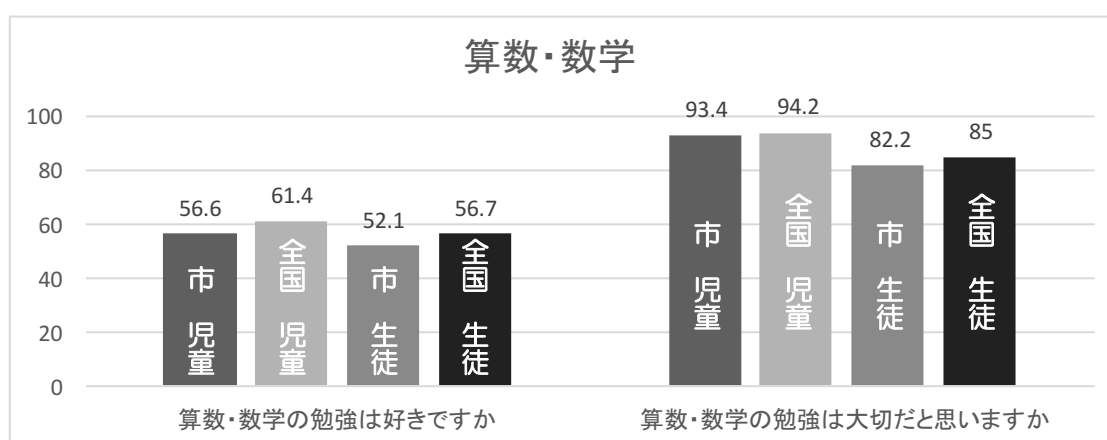
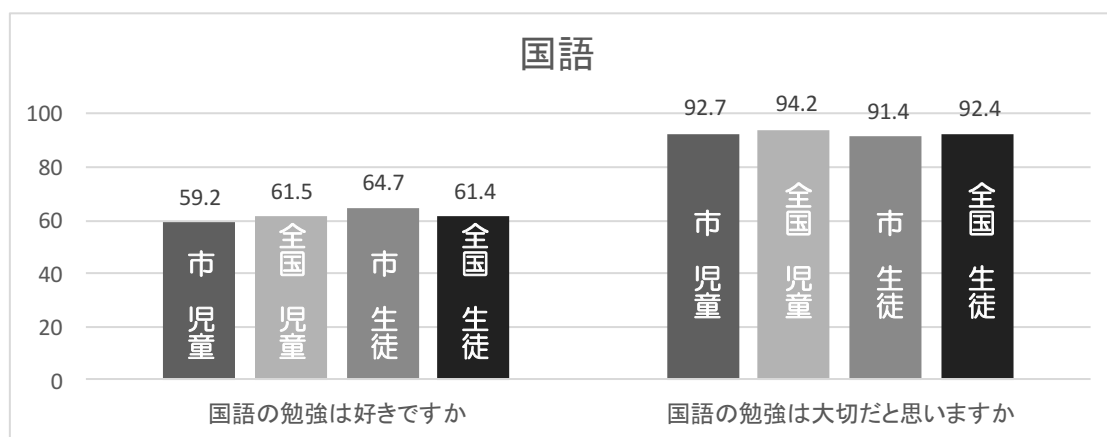
【中学校数学】

- 平均正答率でみると、低い傾向にある。
- 全ての領域に課題があり、特に「数と式」「図形」の領域でその傾向が顕著である。
- 全ての問題形式について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、ばらつきが見られ、全国、千葉県と比較すると低い傾向にある。

【中学校英語】

- 平均正答率でみると、低い傾向にある。
- 全ての領域に課題があり、特に「書くこと」の領域でその傾向が顕著である。
- 英語「話すこと」調査では、学習指導要領の領域の（４）話すこと「発表」において課題がある。
- 全ての問題形式について、課題がある。
- 正答数の分布をみると、ばらつきが見られ、全国、千葉県と比較するとやや低い傾向にある。

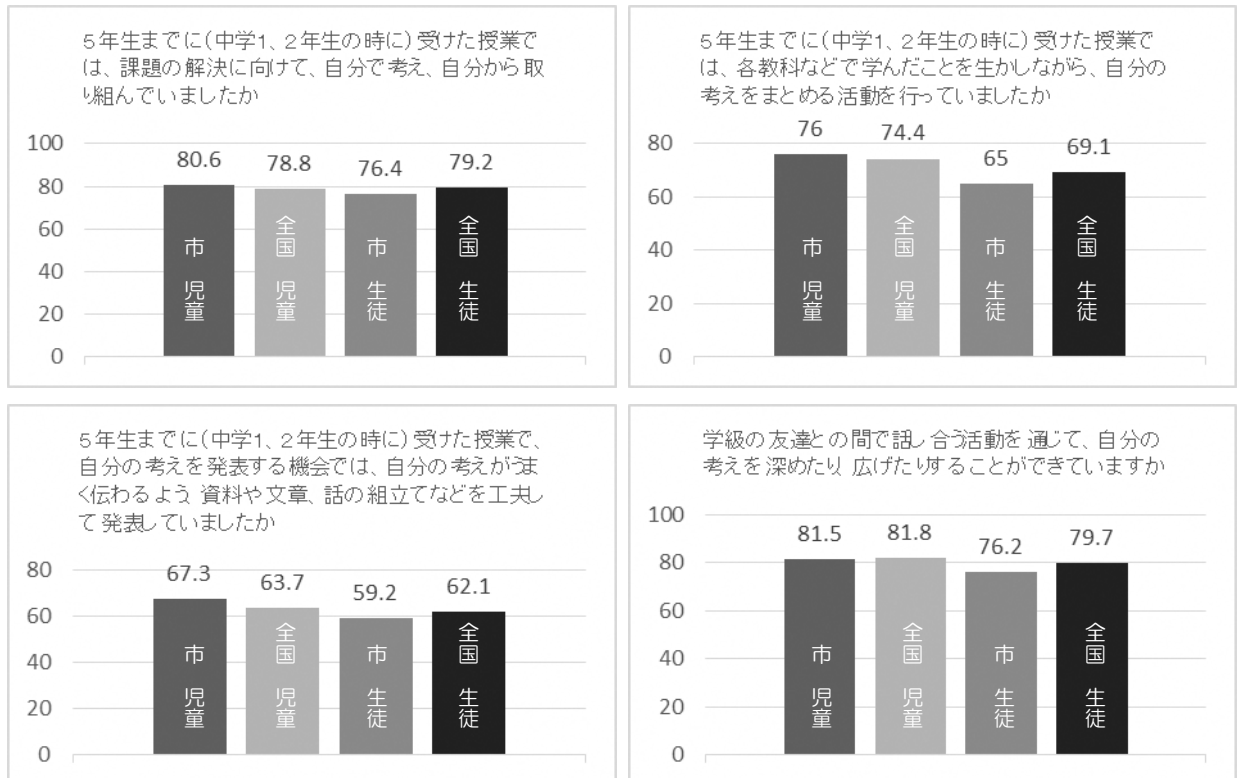
6 児童生徒質問紙調査結果概要
 (1) 学習に対する興味・関心等



【評価】

- 国語に対する興味・関心について、小学校では低い傾向にある。
- 算数・数学に対する興味・関心について、小中学校で低い傾向にある。
- 英語に対する興味・関心について中学校で低い傾向にある。
- 児童生徒は、各教科の学習に対して「大切である」と考えている割合が高い傾向にあることから、授業等において、学ぶ必然性や意義を感じられるよう工夫することが求められている。

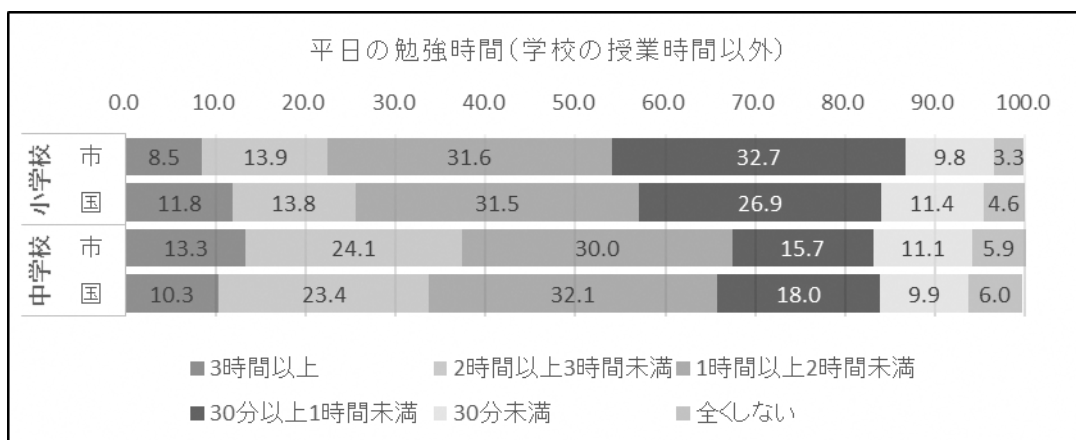
(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善



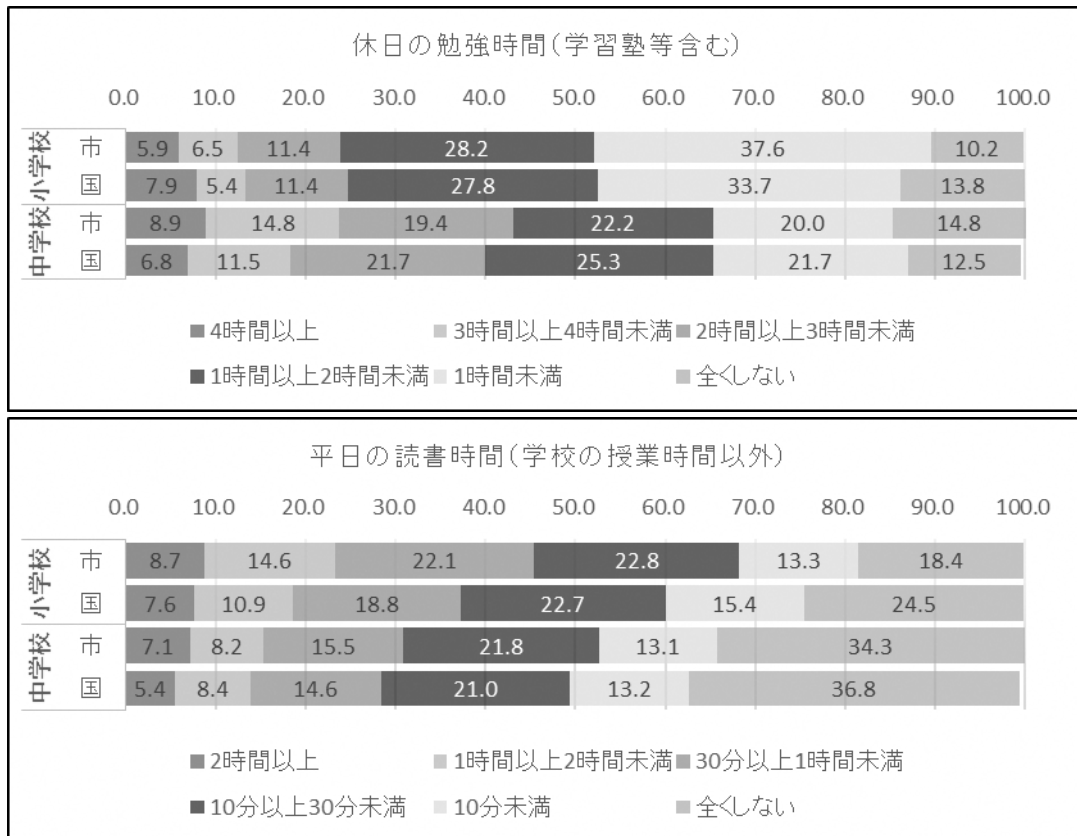
【評価】

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に概ね取り組んでいる。
- 授業において、適切に自分の考えをまとめる時間を確保し、考えを発表、交流する機会を積極的に設け、思考力、判断力、表現力等を磨く授業づくりに取り組む必要があります。

(3) 学習習慣等



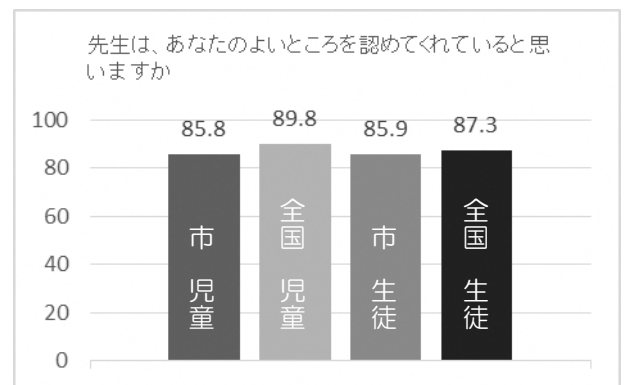
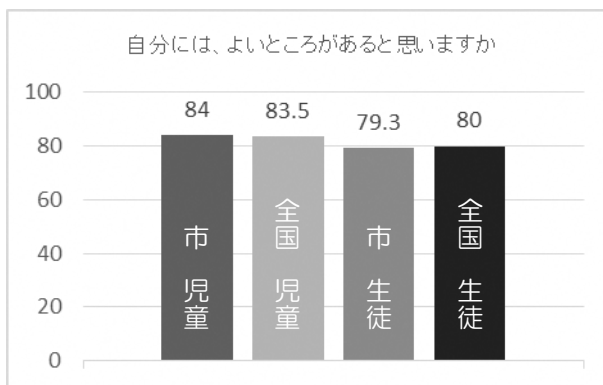
【参考資料】



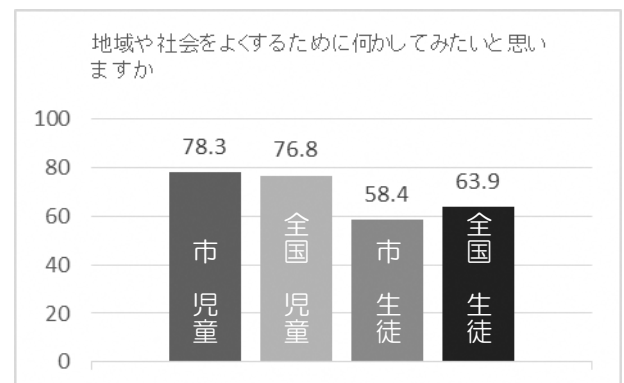
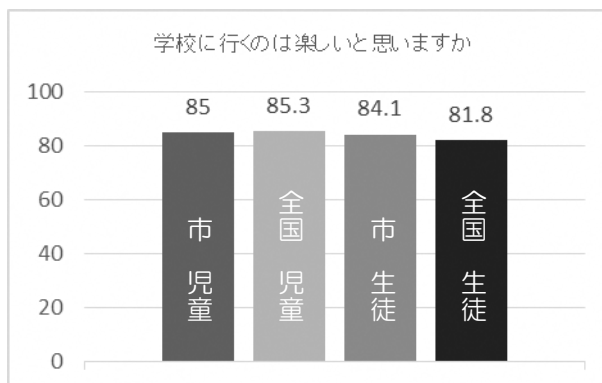
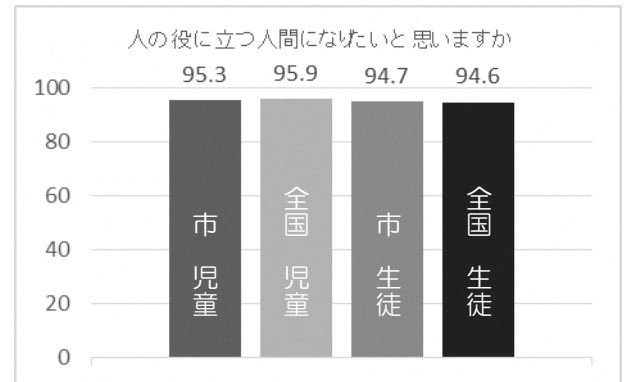
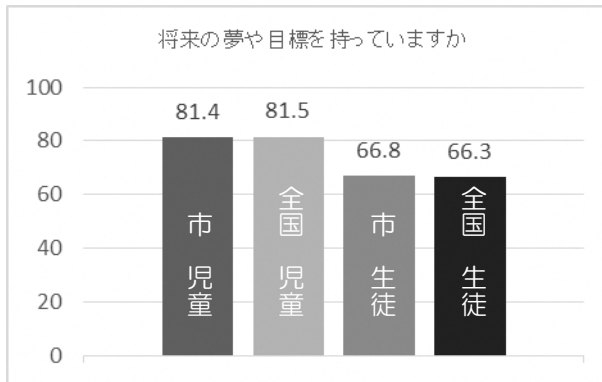
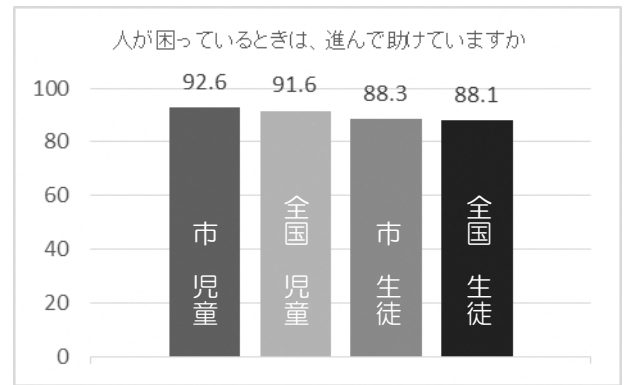
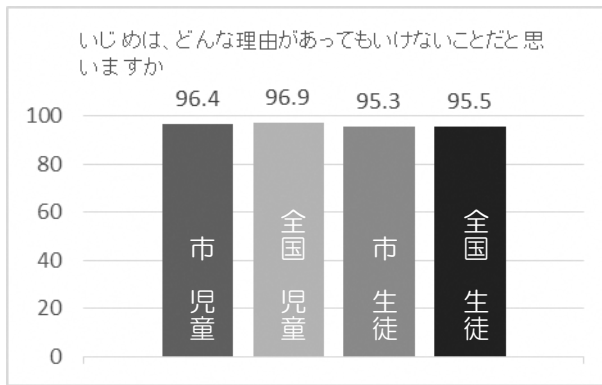
【評価】

- 平日の授業以外の学習時間については、小中学校共に 30 分以上学習に取り組む児童生徒は多い傾向にある。
- 特に中学校では、1 時間以上学習に取り組む生徒の割合が、全国と比較すると多い傾向にある。
- 小学校では、1 時間以上学習に取り組む生徒の割合が、低い傾向にある。
- 休日の学習時間について、小学校では、全国と同様の傾向を示しているが、中学校では 2 時間以上学習に取り組む生徒は、全国と比較すると多い傾向にある。
- 小学校で、読書の習慣は概ね身に付いているが、中学校では低い傾向にある。

(4) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等



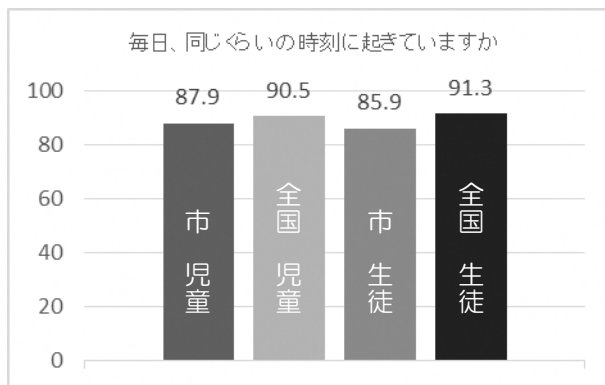
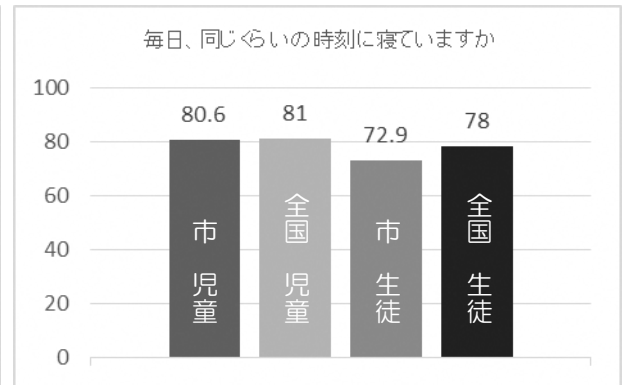
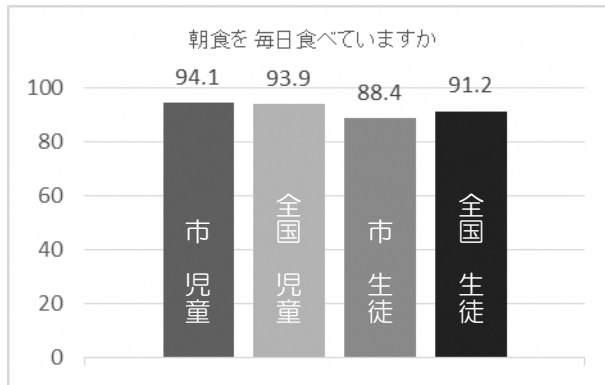
【参考資料】



【評価】

- 自己有用感については、「自分の良いところがある」等の問いに対して、肯定的な回答の割合が高く、良好な状態である。
- 「いじめは何があってもいけない」等の問いに対して、肯定的な回答の割合が高く、規範意識について身に付いている。
- 「将来の夢や目標を持っているか」との問いに対して、肯定的な回答の割合が小中学校で高い傾向にある。また、「人の役に立つ人間になりたいか」との問いに対して、小中学校共に、肯定的な回答の割合が高く、挑戦心等について概ね良好な状態である。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいか」の問いに対して、中学校で肯定的な回答の割合が低い傾向にある。

(5) 基本的生活習慣等



【評価】

- 朝食の喫食状況について、小中学校共に肯定的な回答が高い傾向にある。
- 就寝、起床時間について、特に小学校では良好な状態である。